

2025/03/18

# 日本のシビックテックの現状と課題 ～地域における活用と展開可能性について～

一般社団法人コード・フォー・ジャパン / 関 治之

# 自己紹介

## 関 治之

Twitter: hal\_sk

シビックハッカー

オープンソース好きなエンジニア

## 所属

- 一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事
- デジタル庁 シニアエキスパート（シビックテック）
- 株式会社HackCamp CEO
- 合同会社Georepublic Japan CEO

## 他

- 東京都チーフ・デジタル・フェロー
- 浜松市 フェロー
- 岡山県西粟倉村 最高情報戦略監(チーフ・インフォメーション・オフィサー)
- 山口県 CIO補佐官
- 香川県 かがわDX Labフェロー
- 大阪府枚方市 DXフェロー
- 三重県 みえDXアドバイザー
- 総務省 地域情報化アドバイザー
- 内閣官房 オープンデータ伝道師



シビックテックは、テクノロジーとコミュニティを通じて政府と市民の  
関係を変革する世界的なムーブメントである。

## 行政とのコラボレーション

### オープンガバメントの促進

- オープンデータ
- 政府とのハッカソン
- join.gov.tw (台湾)

### GovTechソリューション

- フェローシップ
- 人材育成・トレーニング
- アプリ開発
- 市民ユーザーによる検証

Civic  
Tech

## 市民主導 プロジェクトの促進

### 市民参加

- リビングラボ
- Decidim/vTaiwan
- 参加型予算

### 市民主導プロジェクト

- ハッカソン
- ブリゲードプログラム
- 社会プロジェクト
  - 男女平等
  - 情報弱者対策
  - 防災
  - 再生ツール

## デジタル公共財/ インフラの創造

### オープンソース/データ

- オープンソース系ファンド
- My society、Decidim

### 政府によるオープンソース

- Public money, Public code

# 日本のシビックテック・エコシステムのステークホルダー

## 中央省庁

- 学生インターンシップ
- 青少年の市民参加
- 市民科学プロジェクトの実施

- 業務委託でサポート
- 委員会のメンバーになる
- 研究グループに参加する

## 学術機関

大学  
研究機関

## 民間セクター

テック企業  
ソーシャル/GovTechスタートアップ  
非営利

- 地域コミュニティを築く
- 一緒にイベントを開催する（例：ハッカソン）
- サービスの提供（例：デシディム）

- 資金提供を求める
- オープンソース／オープンデータの推進
- 共同作業

## 地方自治体

DXチーム  
CIO/CDO

Civic  
Tech

# Code for Japan の役割



## ビジョン: とともに考え、ともに創る社会

### 活動の3本柱

#### デジタル民主主義

- Decidim
- デジタルシチズンシップ

#### デジタル公共財

- 偽情報対策ツール
- カーボンフットプリント計算ツール
- スマートシティプラットフォーム (FIWARE)
- オープンデータ・ワークショップ

#### 市民主導プロジェクトの促進

- 月例ハッカソン
- Code for Japanサミット
- Make our Cityプロジェクト
- 行政主催ハッカソン
- 国際協力

### 主な指標

- 8,200人以上のSlackメンバー
- 20人以上のコアメンバー（有給スタッフ）
- 80以上のブリゲード
- 11年間の活動
- 65以上の月例ハッカソンを開催
- 複数の行政機関とのパートナーシップ

# ブリゲードコミュニティ

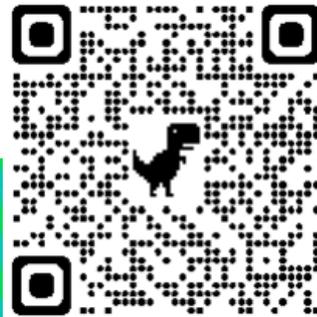
地域の中で活動するコードフォー  
コミュニティ。

90以上のコミュニティが活動して  
おり、規模や活動テーマ、活動内  
容は様々。

ブリゲードは独立した団体とし  
て、各ブリゲードの自主性に基  
づいて様々な活動をおこなう



# 月例ハッカソン Social Hack Day



**{ Social HackDay**  Code for Japan

#54

Hybrid オンライン + リアル会場

**2023.09.23**

10:45-18:00

<https://socialhackday54.peatix.com/>

# Social Hack Dayの1日の流れ

## プロジェクト紹介



プロジェクト紹介を参考に  
参加するプロジェクトを選ぶ

## モクモク開発



プロジェクトごとに開発や議論  
中間報告と最後に成果発表

# 様々なプロジェクトが活動しています



 Code for SAKE



 proj-inclusive



 Hackdays



 Decidim



 BirdXplorer



 オープンデータ DataOps



 stats-gender-gap-jp



 データ連携基盤認証認可WG



 もりポ



 じぶんごとプラネット



 gussuri(睡眠記録シートDX)



 OpenDataPackageManager -dim-

# まちづくりに関する公共財

## Decidim



アイデア募集中 「誰もが豊かさを享受できるスマートシティ加古川」をみんなで考えよう ▶

加古川市 市民参加型合意形成プラットフォーム

ホーム 参加プロセス 参加スペース ヘルプ

### Make our Kakogawa

かじがわの未来へ想いを込めよう

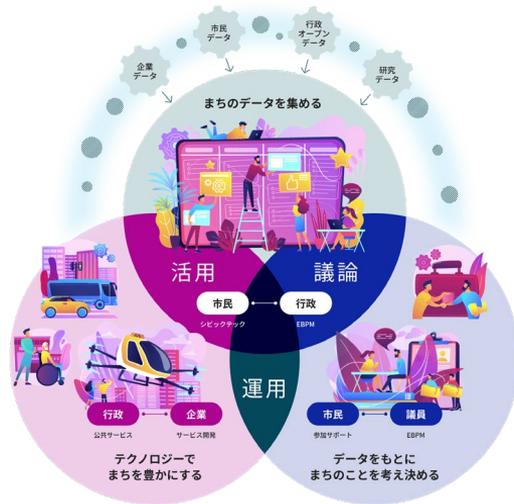
ログイン

#### 参加することではじめるまちづくり

**decidim**

Decidim (デシディム) は、市民などが意見やアイデアを寄せ、議論し、政策に結びつけていくためにスペイン・バルセロナで生まれたツールです。  
加古川市はスマートシティを市民の皆さんと作るため、全国で初めて Decidim を導入しました。  
ユーザ登録すれば誰でも参加できます。市民の皆さん、事業者の皆さん、行政でアイデアを出し合って、よりよいまちをつくりましょう。

## Make our City データ連携基盤



# じぶんごとプラネット

カーボンフットプリント量を知る

## じぶんごとプラネット



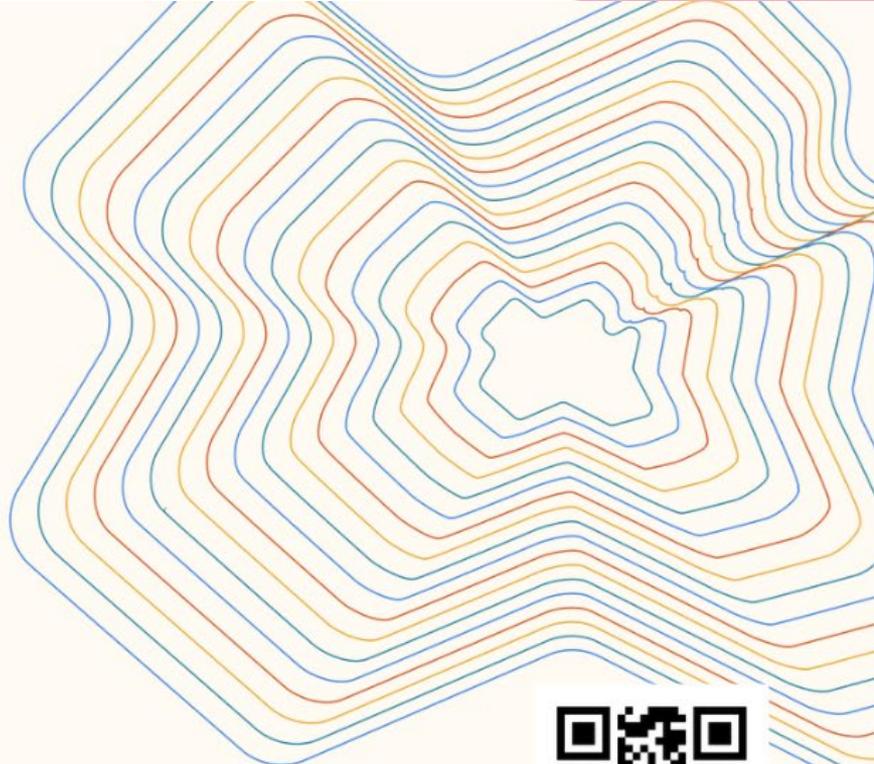


# Toban

当番

いちばん簡単な貢献の記録と報酬の分配

Simplest way for contribution recording and rewards distribution



X Account

循環する森の  
ポイント(も  
りぽ 流山  
moripo)

Home

▼ News

▼ エコイベント予定

▼ 協賛店

\*もりぽ貯め方&使い方

▼ パートナー団体・企業

運営メンバー

メディア

Privacy policy

Terms of service

# 共存共助 の 森のまち

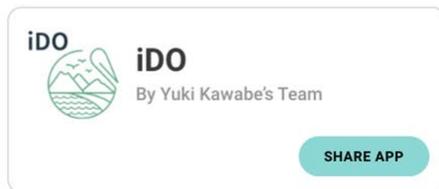


# TOYOOKA IDO

豊岡スマートコミュニティ推進機構  
が開発

2023年3月に実施した「豊岡市・地方都市の暮らしハッカソン」がきっかけとなり、市内外のエンジニア、デザイナー、市民などが連携し開発

地域の人達が情報を投稿できる



Scan to Install

\*If your camera doesn't have a QR code scanner,  
you can [send the link via sms](#) or [copy the link here](#).

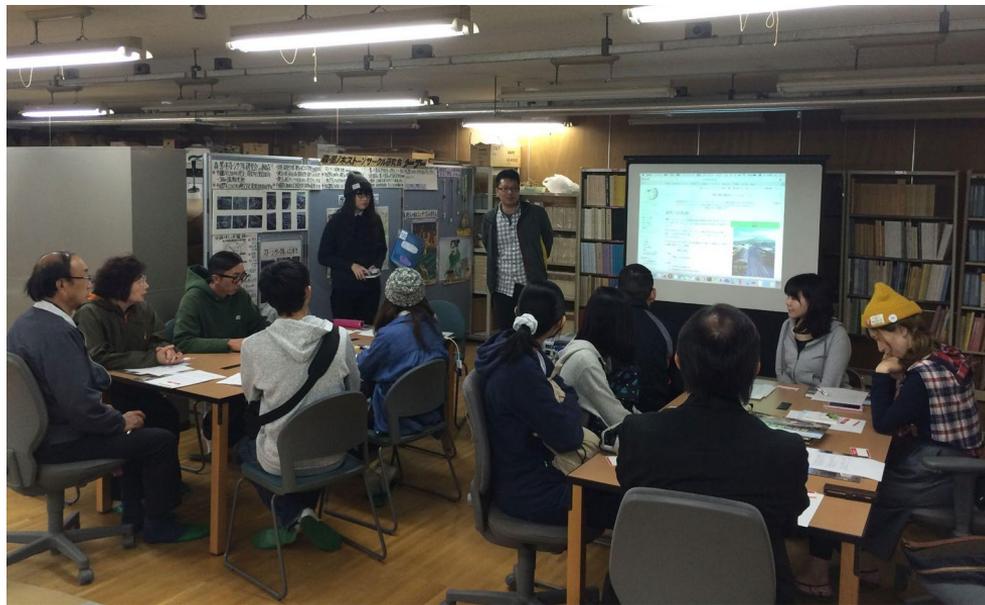


# 地域コミュニティの活動例

## ウィキペディアタウン

まちを調べ、まちをアーカイブする取組

まちに関する、地域の文化財等の情報を皆で調べ「ウィキペディア」に掲載するワークショップ



プロトタイピング

**論理で説得するのではなく、  
アウトプットで理解してもらおう**



# さっぽろ保育園マップ



# 市のウェブサイト



札幌市 City of Sapporo

お探しの情報は何ですか。  サイト内検索

ホーム > 健康・福祉・子育て > 子育て > さっぼる子育てナビ > 認可保育所（中央区）

いいね! 3 | イネ! | B! 0 | G+ | ツイート | 更新日：2015年3月24日

## 認可保育所（中央区）

[中央区](#)・[北区](#)・[東区](#)・[白石区](#)・[厚別区](#)・[豊平区](#)・[清田区](#)・[南区](#)・[西区](#)・[手稲区](#)

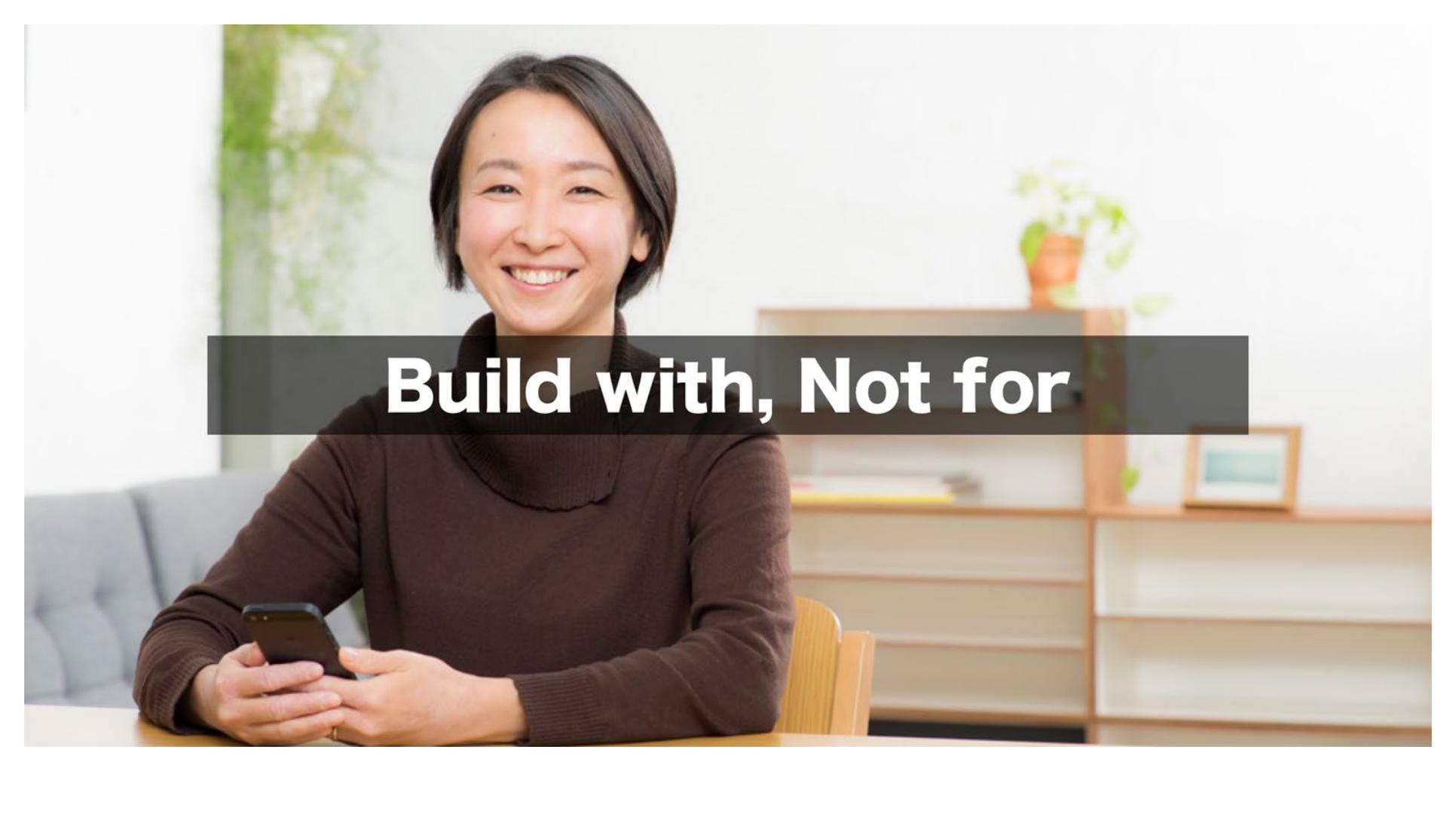
設置の「公」は「公立（市立）」、「私」は「私立」、「指」は「指定管理者」です。市立保育園では育児相談も行っています。

### 認可保育所（中央区一覧）

設置	施設名	入所児童の年齢区分等	郵便番号	所在地	定員	電話番号	FAX番号	周辺地図
公	札幌市あけぼの保育園	幼延1.	064-0811	南11条西10丁目1番3号	90	511-0447	533-6104	<a href="#">地図</a>
私	鉄道弘済会札幌保育所	併産延1.	060-0051	南1条東7丁目2番15号	60	251-1555	804-0661	<a href="#">地図</a>
私	救世軍桑園保育所	併産延1.	060-0005	北5条西14丁目1番地29	90	221-6630	221-6631	<a href="#">地図</a>
私	駒鳥保育所	併一延1.	060-0031	北1条東8丁目1番地41	90	251-9398	398-8585	<a href="#">地図</a>
私	円山北町保育園	併延1.	064-0825	北5条西27丁目3番1号	60	611-4991	631-6766	<a href="#">地図</a>
私	愛育保育園	併産延1.	064-----	南7条西18丁目3	80	551-----	551-----	<a href="#">地図</a>

### さっぼる子育てナビ

- 放課後児童クラブ（学童保育）について
- 子ども・子育て支援新制度事業者向け説明会の開催について
- 利用者向け説明会について
- 子育て全般について
- [認可保育所（中央区）](#)
- [認可保育所（北区）](#)
- [認可保育所（東区）](#)
- [認可保育所（白石区）](#)
- [認可保育所（厚別区）](#)
- [認可保育所（豊平区）](#)
- [認可保育所（清田区）](#)
- [認可保育所（南区）](#)
- [認可保育所（西区）](#)
- [認可保育所（手稲区）](#)
- 幼稚園保育室の募集について
- [さっぼる保育ルームの募集について](#) ※平成25年度の募集は終了しました
- 児童手当等に関するお問合せ先
- 市営住宅申込時の優遇措置

A woman with short dark hair, wearing a brown turtleneck sweater, is sitting at a wooden table. She is smiling and looking towards the camera while holding a black smartphone in her hands. The background is a bright, modern interior with a light-colored wall, a wooden shelf with a potted plant, and a blue tufted sofa. A dark grey horizontal bar is overlaid across the middle of the image, containing the text "Build with, Not for" in white, bold, sans-serif font.

**Build with, Not for**

# 信頼構築フレームワーク 4P

## People

テクノロジーではなく、人々から始める



- ともに考える
- お互いの言語を学ぶ
- 個人的な信頼関係を作る

## Prototyping

課題を理解するためにプロトタイピングする



- ともにつくる
- とともに学ぶ
- 課題を理解する

## Project

共通のゴールを決め、リソースを割り当てる



- とともに働く
- 共通価値を作る
- チェンジマネジメントも行う



## Promote

アイデアやデータを広め、ネットワークを拡大する

# 市民エンゲージメントツール : Decidim

# Decidim（デシディム）について

Decidimはカタルーニャ語で「我々で決める」を意味する、2016年にスペイン・バルセロナで誕生したオープンソースの参加型合意形成プラットフォームです。

## 世界での取り組み

バルセロナから世界各地に広がり、スペイン、フィンランド、アメリカ、メキシコ、台湾などをはじめ30カ国や地域・450サイト、約300万ユーザーが利用しています。

## 日本における展開

2020年10月に兵庫県加古川市で初めて導入され、国・自治体・民間部門で、約30サイトで利用されています。



<https://decidim.org/ja/>

# 世界のDecidim事例

リアルなコミュニケーションも併用しながら市民エンゲージメントを高める取り組みになっています。  
(例) 地区別のコミュニティマネージャーが対面でワークショップをする、投票は紙でもできる等

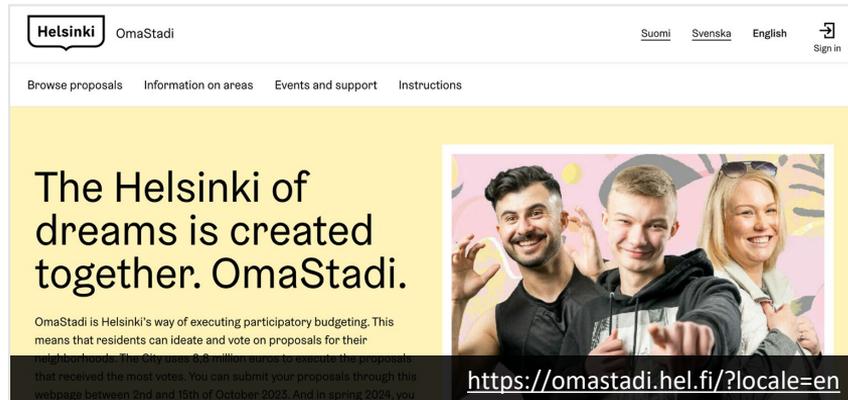
## スペイン・バルセロナ市

- 2016年開始
- 市計画に参加者4万人が1万件以上の提案を寄せ、1,500件が採択
- 100を超える市民参加プロセスを運用



## フィンランド・ヘルシンキ市

- 2018年開始
- 880万€の参加型予算編成プラットフォーム
- まちづくりに関する396件の提案に対して12歳以上の約5万人が投票し、75件の提案を採択



# 日本のDecidim事例

## パブリックコメントのアップデート

官民間問わず幅広い分野でのコミュニケーションプラットフォームとしての活用がはじまっています。

### 計画策定プロセスへの適用

パブリックコメントに加えて、市民同士、市民と自治体のコミュニケーションの場として運用。

### 多様で個別のニーズを反映する仕掛け

アウトリーチを意識したサイト運営が、参加プロセスの設計にもなっています。

(例) 兵庫県加古川市

- 地元高校生をはじめ多くの若者が参加
- オンライン・オフライン双方での対話を組み合わせることで計画を策定



# 日本のDecidim事例

ボトムアップでの特徴的アプローチ

官民間問わず幅広い分野でのコミュニケーションプラットフォームとしての活用がはじまっています。

## 公共空間のプレイスメイキング

まちの広場や公園の管理者と参加者が利用ルールの整備・活用を協働して行う

## デジタルシチズンシップの展開

例：福島県西会津町

- アントレプレナーシップ教育として中学生がまちづくりを提案を行う
- 町内外が連携して社会実装を目指す



例：兵庫県加古川市

- 高校生が企業プロボノ・市役所職員のサポートを受け、市長に政策提案

## 地域運営組織での活用

例：京都府与謝野町

- 500人規模の集落での活用



# 日本のDecidim事例

## 民間主体の取り組み

民間セクターが主体になり、共通の目的を持った複数地域が利用するプラットフォームとしての活用も進んでいます。

### 民間企業による複数地域での展開

まちづくりのプロジェクトの共通プラットフォームとして横展開する事例が登場（東京都渋谷区・長野県信州地域）



<https://shibuya-goodtalk.diycities.jp/>



<https://shinshu-goodtalk.diycities.jp/>

### 地域間連携のためのプラットフォーム

阪神間で産学官民協働を推進するための共創型人材育成研修において、プロジェクト管理ツールとして活用



# Canòdrom

ATENEU D'INNOVACIÓ DIGITAL I DEMOCRÀTICA

Open technologies,  
participatory democracy and  
digital culture



衝突から生まれる熱量は、新たな価値を生むエネルギーになる



# 事例：豊岡での市民参加型まちづくり

# 豊岡スマートコミュニティ(推進機構)とは

- 豊岡市とトヨタ・モビリティ基金が中心となって設立された任意団体
- 豊岡市の掲げるビジョンである「いのちへの共感に満ちたまちづくり」、「小さな世界都市」及び「深さをもった演劇のまちづくり」を実現させるために、適切な技術（ICT、IoT、データ活用等）を用いて生活の心地良さを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティを構築する。そして、住む人、訪れる人にとっての豊岡市の価値を高め、地域の持続可能性を向上させることを目的としている。



**Toyooka**  
Smart Community  
Powered by TMF

# 1. TSCの歩み

# TSCの歩み

「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティを構築するというビジョンのもと、豊岡市とトヨタ・モビリティ基金が提携し豊岡スマートコミュニティ（TSC）を設立。30名程度の様々な立場のメンバーが協働しながら、多様なプロジェクトで課題解決を試行錯誤する1年目を経て、2年目はプロジェクト収斂と派生的な地域活動の展開も生まれた。

## 2020年 多様なメンバーが協働し、プロジェクトを試行錯誤する

- 5月 TSC始動
- 8月 B-room開設
- 9月 豊岡演劇祭を通じたモビリティ施策検証
- 11月 憲章づくりの試行

## 2021年 主に3つ（竹野南・福祉モビリティ・データ連携基盤）にプロジェクトが収斂/ 派生的な地域活動も生まれる（シン稽古堂塾・COGなど）

- 1月 シン稽古堂塾(code for toyooka)発足
- 4月 Toyotoyo区長プロジェクト
- 6月 福祉モビリティ実証実験
- 7月 市役所オープンデータ推進
- 10月 竹野南新交通モード実証実験

# TSCの歩み

3年目は、自主的にIoTを活用する部局や、データ連携基盤の検証を進めるメンバーが育ち、ある程度の自走が進む。これまでの取組の総括である4年目は、豊岡ハッカソン等を通じた地域への活動の広がりのもと、新体制に向けた準備が始まる。

## 2022年 プロジェクト推進の主体となるメンバーが育つ

- 1月 城崎振興局IoT活用プロジェクト
- 7月 データ連携基盤プロトタイプ検証
- 8月 データを使った交通安全教室

## 2023年 更なる活動の広がりが生まれ、自走する次の体制検討へ

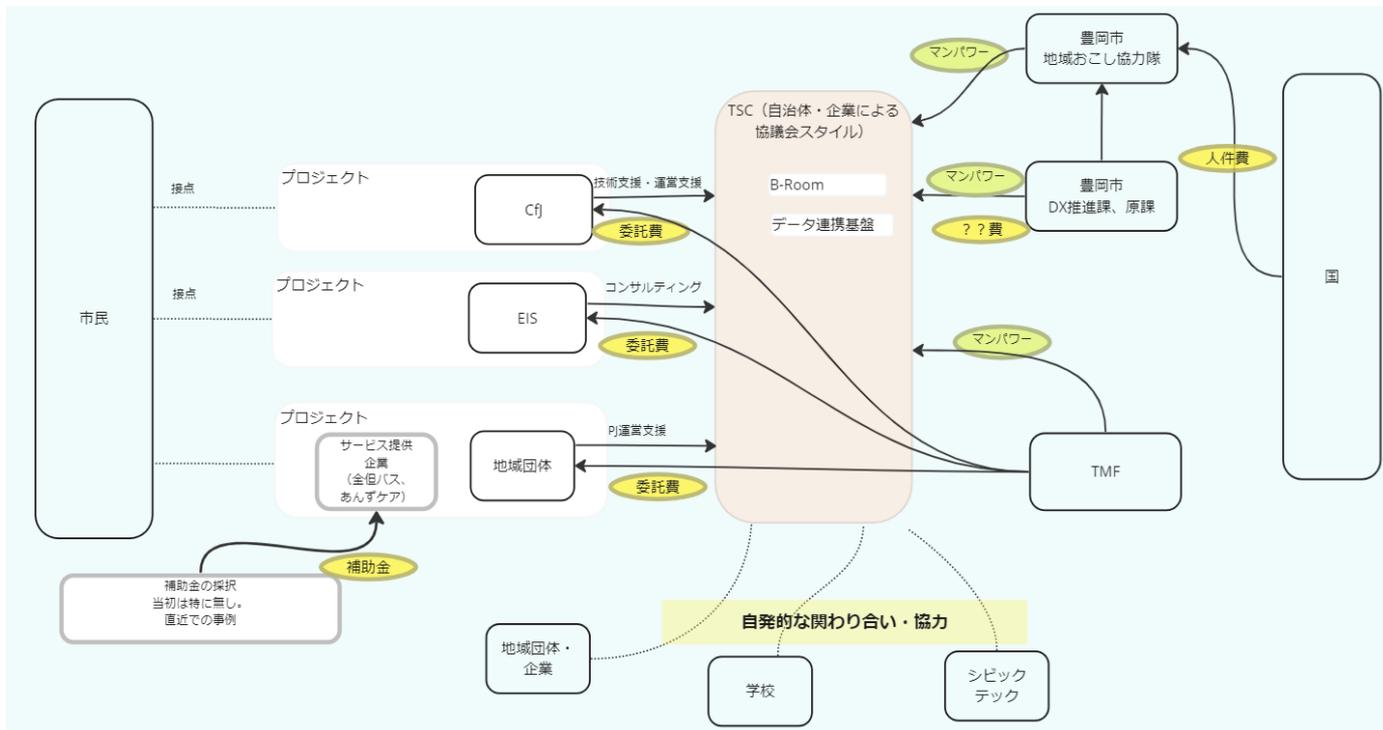
- 3月 豊岡ハッカソン開催
- 5月 交通安全教室の広がり
- 7月 新TSC体制に向けた準備開始

## 2. TSCのステークホルダー



# TSCのステークホルダーと取組枠組み

組織の枠組み  
 (資金の流れ、  
 ステークホルダーの関係性) については、右図のとおり整理できる。



# 3. TSCの価値

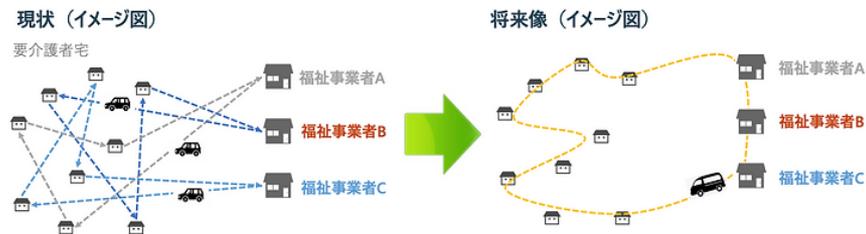
# 豊岡で生まれた活動

## TSC直轄プロジェクト

- 福祉モビリティ※1
- iDOアプリ
  - 移住や子育てなど「自分の困りごと」を解決する情報を、「誰かの困りごと」の解決に繋げるためのアプリ。
  - 子育てデータ収集イベントなど、マッピングパーティも実施済み)
- データを使った交通安全教室
- みんなxエール（豊岡版カマコンの開催予定）※2
- TSCの運営をより地域に渡すためのシンTSC移行プロジェクト
  - 市役所に加えて但馬信用金庫がコミット
- 豊岡市役所向けのDX・BPR研修
- 豊岡市役所向けのオープンデータ推進サービスデザインプロジェクト

※1: <https://www.toyooka-smart-community.org/post/mobi1>

※2: <https://www.toyooka-smart-community.org/post/minnayell1>



# 豊岡で生まれた活動

TSC関係者が関わって生まれたプロジェクトや団体

- 地域コミュニティと連携した地蔵マッピング情報を民間アプリに提供（予定）
- シン稽古堂塾(code for toyooka)
- 地域団体による社会的処方プロジェクトを、cfJがIT支援
- 高校生の探究学習支援（Challenge Open Governance 受賞）※1
- 地元高校生に対するキャリア座談会開催
- 区長会（自治会長会）でのVRデモ
- 地域コミュニティに対する生成AI活用講座
- 市立図書館を舞台としたシビックサービスデザインプロジェクト

※1: <https://lib.city.toyooka.lg.jp/topics/2022toyooka-fans.html>

# TSCの価値（アウトカム）

これまでの取組の中で見えてきた、TSCの存在の本質的な価値（アウトカム）は、主には以下が考えられる。

\* アウトカムについては、内閣府「スマートシティリファレンスアーキテクチャ（ホワイトペーパー）」第2版内、「図3.3-4ロジックモデルの完成イメージ」も参照

【ロジックモデルの完成イメージ（「顔認証の実用化による公共交通の利便性向上と高齢者の外出促進」という施策を例に）】

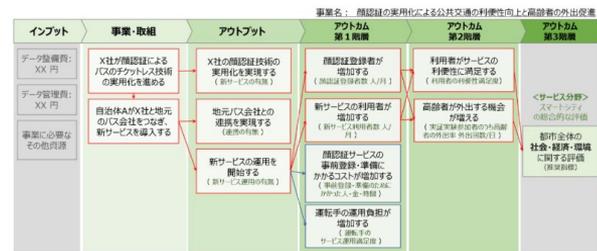
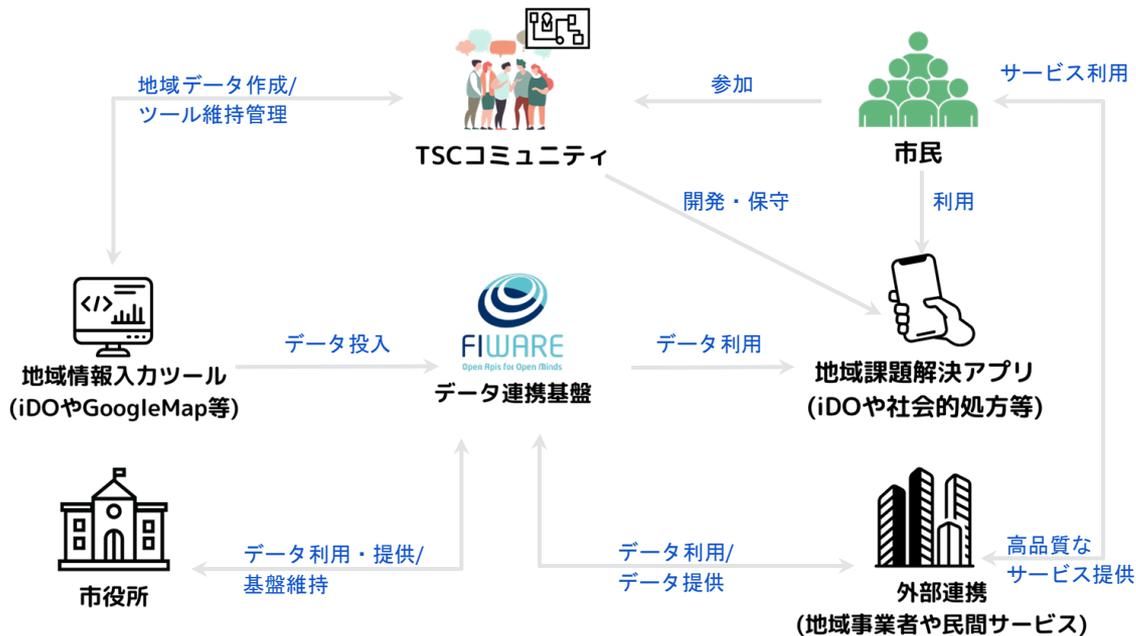


図 3.3-4 ロジックモデルの完成イメージ（アウトプット・アウトカム、及びKPI設定の例）

市だけでなく多様な主体が連携・育つ	専門家に出逢え解決に近づく	ともに学び、地域にスキルを落とし込む
<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちの持つ課題を市役所だけでなく、外部と連携して取り組むことができる</li> <li>● まちの持つ課題に、市・企業・市民・地域団体...等多様な主体が関わり合いながら、解決を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門家にここでは出逢え、具体的なスキルを得たり、解決策に近づくことができる</li> <li>● 必要なひととつながることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一緒に取り組んでいく中で、地元団体等のまちづくりの主体にスキルを落とし込んでいく。</li> <li>● 市職員もここでの活動を通じて新しいスキルや考え方を身に付けることができる</li> <li>● 未知のことを共に学ぶ</li> </ul>

# 地域のデータ作成・流通・活用に関する全体像のイメージ

市民や民間事業者が自らデータを作成・流通・活用できるプラットフォームがT S C  
その恩恵を様々な人が享受している状態を将来的に目指す



## 広がるデータ活用の取組み

- ・ 市民による子育て便利情報の発掘イベント(シン稽古堂塾)
- ・ 文化資源(地蔵等)のデータ収集イベント
- ・ 小学生ヒヤリハット地点登録
- ・ 特定外来生物地点登録 (検討中)
- ・ TTI (観光DMO) との連携検討
- ・ プローブデータの活用検討
- ・ MyRouteと議論中

## 4. TSCのまちづくりの プロセス

# TSCのまちづくりプロセス

TSCのまちづくりにおける具体的なひとつひとつのプロジェクトは、大まかには以下のプロセスを経ながら推進されてきたと捉えることができる。

尚、内閣府「スマートシティリファレンスアーキテクチャ（ホワイトペーパー）」第2版内、「図6.2-2ダブルダイヤモンド」に表現されるとおり、発散と収束を繰り返しながら、プロセスや期の前後や繰り返しが発生することに留意が必要である。

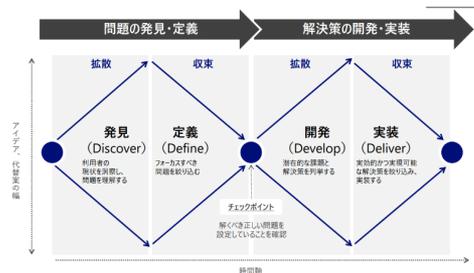


図 6.2-2 ダブルダイヤモンド

探索期	ひととまちに つながる	主体となるひとと テーマを見つける	現場と暮らしを知る
実験期	洞察とアイデア出し	プロトタイピング	
振り返り		<b>振り返る</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解くべき問いは正しいか</li> <li>・ 中止の選択はないか</li> </ul>	
実装期	<b>合意形成をする</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係者合意・規制の整理</li> </ul>	<b>サービスを実装する</b>	

(\*)現時点、実装期に至った具体プロジェクトはほぼ無し

## 5. TSCのふるまい

# 前提・立ち位置

- TSCのこれまでの取組を元に、プロジェクトの成功において重要と思われる「ふるまいかた」のエッセンスを抽出し、パターンランゲージ(\*)を参考に言語化を試みた。
- 前章のまちづくりプロセスを前提に、「探索期」「実験期」期、及び「全体」で分けて記載した。「振り返り」・「実装期」は現時点では未作成。
- プロジェクトを推進する側の視点で表現した。なお、プロジェクト推進者は、市民活動としてではなく、市や企業の立場で仕事として本プロジェクトに関わっている前提で記載している。

(\*)パターンランゲージは、主に慶応義塾大学井庭研究室の取組を参考にした。  
<https://creativeshift.co.jp/pattern-lang/>

# ふるまい一覧

## 探索期

まちのお気に入り

A面とB面

人からはじめる

乗りたくなるストーリー

暮らし全体から見えるもの

## 実験期

あるものが活きるやり方

みんなでつくる

見えるもので議論

行けば分かるさ

思いもよらない兆し

## 全体的に

話しやすさをつくる

重なりからひろげる

ひとりの課題はみんなの課題

へんしんまでの時間

ことばをつむぐ

# Join us!



[cfj.slack.com](https://cfj.slack.com)



[@codeforJP](https://twitter.com/codeforJP)





ともに考え、ともにつくる

 CODE  
for JAPAN